

仕合あせ



第228号

令和3年 3. 1
(毎月1日発行)

コロナ禍でのワクチン

住職 谷川寛俊

暖かい日が続いたかと思えば、翌日には寒さがぶり返し、気温が上下に激しく変化するのが、今頃の気候で、まさに「三寒四温」の毎日ですが、「冬は必ず春となる」という、日蓮大聖人のお言葉の通りです。

毎日コロナ禍や、五輪開催有無のニュースで新聞紙上を飾っている。今、東京五輪の開催まで5ヶ月。ここにきて組織委員会の会長が辞任し、新たに会長が選出されたが、密室から透明性と言われながら、結果は密室によって選出された感を覚えたのは私だけだろうか？いずれにせよ、感染者は減少してはいるが、果たして東京五輪が開催されるかどうかは、未だに何とも言えない状況です。今から五十六年前の一九六四年に開催された前回の東京オリンピック。私は高校1年生。身延山久遠寺で修行中でした。我が国が戦後の混乱や貧困からの復興を国の内外に示すという意味がありました。

そして今回は、安倍前首相が東日本大震災からの復興を掲げて、今回の五輪を招致しました。そして菅首相は、人類がコロナに打ち勝った証を見せたいと宣言されました。

いずれにせよ、アスリートの代表選手達は、命懸けで夢に向かって頑張っています。何としても開催されることを祈るのみであります。

今、国内ではワクチンの接種が始まっています。県内では最初に高岡の病院。そして魚津の労災病院でも医療従事者の方々が先行接種として全国版のニュースでも報じていました。

アメリカのファイザー製のワクチンは、接種の対象年齢が十六歳以上に限ると過日の新聞を見ました。それは子供の十分なデータが得られていないというのが理由だそうです。

専門家は、子供は新型コロナにかかりにくいと指摘し、何よりも予防は周りの大人が接種することが大切だとしています。

更にファイザー製のワクチンは臨床試験の結果から、発症率を95%に下げることが確認されているようで、すでに海外では十二歳以上を対象にした

真成寺ホームページ



玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

携帯 080-3744-2523

こちらの番号でもお寺につながります。

試験が始まっているようですが、十六歳未満への有効性・安全性は現時点で確認されていないとして接種の対象から外れたようです。また、子供は大人と比べて感染しにくく、仮に感染しても重症化しにくいことが分かっています。また子供の感染経路の多くは家庭内での感染だとされています。従って子供に感染させないためには、我々大人がワクチン接種を行う必要があるわけです。私も高齢者なので、その人によっては軽い副反応があるとも聞いていますが、率先して接種を受けようと思っています。

日蓮大聖人の「法華経の行者の祈りの叶わぬ事はない」との金言の如く、日々の精進を心掛けたいと思っています。

今年の節分は、二月二日でした。これは百二十四年ぶりのことだそうです。節分には「鬼は外」と言うのが習わしですが、鬼は何処にいるのか？鬼は外ではなく、私達の心の内にいるの

かもしれません。ワクチン接種によって少しでも「コロナ鬼」を退散したいと願っています。

